

## 2019 年度春学期「教員アンケート」結果について

流通経済大学 FD 委員会

### 1、回答提出状況

全 142 名（専任：77、非常勤：65）

学部別内訳（経済：35、社会：38、流通情報：24、法：19、スポ健：23、不明：3）

専任教員学部別内訳（経済：17、社会：17、流通情報：15、法：12、スポ健：16）

科目別内訳（専門科目：83、教養科目：55、その他：4）

着任年数別内訳（1 年未満：24、3 年未満：28、3 年以上：88）

※2018 年度秋学期は全 115 名（専任：77、非常勤：38）

学部別内訳（経済：28、社会：31、流通情報：19、法：10、スポ健：25、不明：2）

専任教員学部別内訳（経済：17、社会：17、流通情報：12、法：8、スポ健：22、不明：1）

### 2、授業における取組みとその成果

#### （1）講義科目

取組みの内容	具体的な内容とその成果
アクティブラーニング	学生との質疑や、グループワークを講義に取り入れている例がみられる。これらは、意欲のある学生には効果的である反面、もともと意欲の低い学生に対しては、効果が限定的であるとの指摘もある。
映像資料の利用	写真だけでなく、DVD や Youtube を利用して授業に関連する動画を見せることにより、学生の理解度を向上させ、また集中力を維持することができたとの意見が多かった。
ノートを取らせる	板書や空欄をもうけたレジюмеなどによって、学生にノートを取らせる取組みも多く見られた。自分でノートをとることで、学生の理解度が向上したとの指摘もあった。
レポート・リアクションペーパー	リアクションペーパーの内容を授業の進行に反映させたり、学生にレポート課題を課し、その添削まで行うという例もみられた。やる気のある学生に対しては効果的な取組みといえる。
小テストの実施	予習・復習を促すための小テストを行っている例も多く見られたが、もともと意欲的な学生以外については、目立った成果を上げることができていないという意見もあった。
説明の工夫	平易で具体的な説明や時事的な話題と関連付けた説明により、学生の興味関心を引き出そうという試みも多く見られた。時事的な話題と関連付けることで学生の意欲を引き出せたとの意見も見られた。

## (2) 演習科目

取組みの内容	具体的な内容とその成果
グループワーク	レポートの作成やディスカッションをグループで行わせる例がみられる。学生は回を重ねるごとに良くなるようになっていっているとの評価がみられた。
実習・実験	行政と共同で授業を行う例や、心理学の実験を行う例などがみられた。実験については学生も興味を持って取り組んでいたとの意見があった。

## (3) 語学科目

取組みの内容	具体的な内容とその成果
グループワーク	ペアになって会話の練習をするという取り組みが多くみられ、学生のモチベーションの維持などの点で効果があったとの指摘がみられる。
アクティブラーニング	クイズやゲームに加え、英語カルタの作成などを授業の中で行う例がみられ、概ね効果があったとの意見があった。

## (4) 実習科目

取組みの内容	具体的な内容とその成果
資料の配布	学生の理解度の向上や振り返りに利用する目的で資料を利用した説明を行う例がみられたが、自分で考える学生が増えたとの意見もある一方、課題の提出率は高くなかったとの指摘も見られた。

## 3、授業改善のための課題

大学全体での課題	受講者の人数に制限を設けてもらいたい 座席指定ができると良い 学生が積極的な授業に参加できるような動機付けを行ってほしい
アクティブラーニング	全員が参加できるような方法を探っていきたい アクティブラーニングを積極的に導入していきたい
授業の質の向上	意欲的な学生とそうでない学生の二極化への対応を模索したい 学生に伝わりやすい説明をできるようにしたい
学習意欲の向上	学生が興味を持てるような授業を探求したい 学生が主体的に学べるような課題を設定したい

#### 4、授業アンケートに対する評価・意見

##### (1) アンケートに対する評価とその理由

結果	役立っている	まあ役立っている	どちらともいえない	あまり役立っていない	まったく役立っていない
	40名	62名	31名	7名	2名
	28%	44%	22%	5%	1%
主な理由	授業改善のきっかけとなる 学生の意見が分かる 学生の理解度が分かる		回答数が十分でない 結果の信用性に疑問がある アンケートが授業の改善につながっていない 結果の活用の仕方がはっきりしない		

##### (1) アンケートへの意見

実施方法について	授業をまじめに受けていない学生の回答は信頼できない 自由記入欄を活用して授業内容を具体的に評価してほしい 回答率を向上させるための取り組みが必要
実施時期について	アンケート期間が短すぎる アンケート期間が遅すぎる
アンケート項目について	学生が求めている授業についてもアンケートを取ってほしい 難易度については「難しい」or「易しい」で回答してほしい
自由記述欄について	回答結果をフィードバックのファイルにまとめてほしい
結果の分析について	回答結果と回答学生の成績を紐づけてほしい 前回の結果と比較できると良い
結果の活用について	アンケート結果を全学的に公開すべきである 授業改善のための講座などを開いてほしい 教員表彰制度を実現してほしい

#### 5、大学に対する要望

- ・履修者以外の者による回答がみられる（学生の操作ミス？）
- ・教育環境の改善については大学としても具体的な展望を持つべきである
- ・再履修クラスは1限ではなく3限以降に設定してほしい
- ・優秀な学生をTAとして採用できるような仕組みを導入してほしい

#### 6、まとめ

教員アンケートの回収状況は前年度秋学期と比較して全体としては改善されているが、非常勤の教員からの回答は増えているものの、専任教員からの回答は横ばいであった。

授業アンケートの質問項目改定後はじめての教員アンケートであったが、質問項目自体に対するネガティブな意見はあまり見られなかった。もっとも、アンケート自体の信頼性等については、依然として問題が指摘されているため、必要な改善方法を検討していきたい。